

学校だより

佐奈川の風



令和7年9月12日

第5号

豊川市立中部小学校

文責 中村 立志

5年生野外活動（7月28日・29日）

5年生が7月28日～29日の2日間で野外活動に出かけました。途中、雨に降られる場面もありましたが、おおむね天候も良く、さわやかな気候の中で過ごすことができました。今年度も昨年度と同様に1泊2日の日程で行いました。また、昨年度は6月に実施していたものを夏休み中の時期に変更したため、しっかりと準備を行うことができ、中身の濃い充実した2日間となりました。「協力しあって生まれる絆、一人一人が主役になる最高の野外活動にしよう！」のスローガンのもと、友達と協力し合い、ルールを守って、自分の役割を果たし、そして楽しむことができた2日間でした。野外活動で学んだことをこれからの学校生活に生かしてほしいと思います。



校区体育振興会主催による環境整備活動（8月17日）

今年も暑い日が続き、各地で過去最高の暑さというニュースが聞かれました。そんな中、校区の体育振興会主催で校内整備が行われました。各町内から総勢150名ほどの方が集まってくださり、運動場周辺や体育館周辺の草刈り、体育館内の整備を行っていただきました。普段の学校生活における清掃活動や、職員作業等では雑草の成長の勢いには追いつかないため、今回の環境整備は本当に助かりました。おかげで、運動場や遊具の周り、体育館の周りなどがきれいになり、2学期も安心して過ごすことができそうです。暑い中、ほんとうにありがとうございました。



2学期始業式（9月1日）

44日間の長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。ニュース等では過去最高の暑さと報道された今年の夏ですが、始業式当日も暑い日となりました。休み中は事故等の連絡もなく、元気に2学期がスタートできました。始業式は映像を配信して各教室で視聴する形で行いました。2学期は一年で一番長く、大きな行事もたくさんあります。運動会、うたごえ発表会、そして6年生の修学旅行もあります。今まで学んできたことを発表したり、次の学習に生かしたりといった場面が多くなります。これまで学んだことを行事等で精一杯発表できるといいなと思います。ただ、生活が大きく変わるので心身への負担も大きくなることが考えられます。無理をせず、自分のペースで学校生活を送ってほしいと思います。



避難訓練（9月2日）

地震を想定した避難訓練を行いました。1学期は火災を想定した訓練を行いました。火災と地震とでは取るべき行動が異なります。地震発生時は身の安全を確保する行動が優先されますが、火災時は煙から避難することが重要となります。今回も実際に運動場に避難をして安全確認を行いました。今日の訓練は避難経路の確認と「おはしも」（おさない、走らない、しゃべらない、もどらない）の合言葉をしっかり覚えることでした。合言葉を守り、教師の指示に従って、真剣に避難することができていました。



先月には豊川市でも震度2の地震がありました。いつ地震が起きてもわからないという状況です。地震の備えをしっかりと確認し、家庭の方でも非常用持ち出し袋の確認や、本当に地震がおきたらどうするかという会話をしていただきたいと思います。

学校での訓練は教師が指示を出しましたが、いつも教師や大人がいるとは限りません。自分の命は自分で守ることができるように、今日の避難訓練をきっかけにして、命を守ることにについて考える機会にしてほしいと思います。

校区あいさつ運動（9月4日）

9月1日～4日の4日間、中部小校区あいさつ運動が行われました。中部小学校区の民生児童委員会、更生保護女性会、少年指導委員会の方々による自主活動として4月、5月に引き続き3回目となります。9月とはいえ、朝から蒸し暑い中、登校中の子どもたちに声をかけ、見守ってくださりました。地域の方々による「おはようございます」の声に、登校して来た子どもたちは元気よく挨拶できる子もいれば、暑さのせいか、声の小さな子もいました。それでも、学期始めを地域の方々に見守られてながらスタートすることができたことは安心感につながったことと思います。ありがとうございました。



長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。この夏も記録的な暑さとなりましたが、日焼けした顔やひとまわり大きくなった体から、充実した夏を過ごしたことが伝わってきて、大変嬉しく思います。

9月に入っても残暑が続いており、まだまだ暑い日が予想されます。子どもたちが安全に学校生活を送れるよう、熱中症対策には引き続き配慮してまいります。ご家庭におかれましても、多めの水分を持たせることや、十分な睡眠時間を確保するなど、お子さんの体調管理にご協力をお願いいたします。

2学期は運動会をはじめ、子どもたちが大きく成長する大切な時期です。様々な行事や活動を通して、目標に向かって仲間と協力したり、壁を乗り越えたりする中で、きっと新たな自分の可能性を発見してくれると信じています。